

(様式第4号)

介護保険運営協議会 会議概要

- 1 審議会名 上田市介護保険運営協議会
- 2 日 時 平成24年5月31日 午後1時30分から午後2時45分まで
- 3 会 場 中央公民館2階第1会議室
- 4 出席者 佐藤会長、越田副会長、都筑委員、山野井委員、金子委員、藤井委員、腰原委員、細野委員、中澤委員、伊比委員、田中委員、大草委員、柴崎委員、南波委員
- 5 市側出席者 清水健康福祉部長、徳永高齢者介護課長、若林真田地域自治センター健康福祉課長、北沢武石地域自治センター健康福祉課長、桜井高齢者介護課介護保険担当係長、長田高齢者介護課介護保険担当係長、小川高齢者介護課高齢者支援担当係長、村山高齢者介護課高齢者支援担当係長、金子丸子地域自治センター健康福祉課高齢者支援係長、羽毛田真田地域自治センター健康福祉課高齢者支援担当係長、内田武石地域自治センター健康福祉課高齢者支援係長
- 6 公開・非公開等の別 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
- 7 傍聴者 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 平成24年6月4日

協議事項等

- 1 開 会 (高齢者介護課長)
- 2 あいさつ (健康福祉部長)
- 3 委員及び事務局の自己紹介
- 4 上田市介護保険運営協議会及び委員の職務について
- 5 会長及び副会長の選出について
- 6 協議事項
(1) 議題の概要
第5期上田市高齢者福祉総合計画(平成24年度～26年度)について(高齢者介護課長)
計画の概要、基本目標、重点目標などについて説明

平成23年度介護保険の運営状況について(介護保険担当係長)
平成23年度の高齢者数、要介護認定者数、介護保険の給付額、介護保険料の収納状況などについて説明

地域包括支援センターの状況について(高齢者支援担当係長)
地域包括支援センターの業務内容、活動実績、平成23年度決算状況、平成24年度予算などについて説明

平成23年度高齢者のサービス利用状況について(高齢者支援担当係長)
老人クラブの状況、シルバー人材センターの状況、生活支援事業の状況、介護者支援の状況について説明

地域密着型サービスの整備について（介護保険担当係長）

地域密着型サービスの特徴、第5期上田市高齢者福祉総合計画での整備数、事業者の審査状況について説明

（2） 審議概要

議題1「第5期上田市高齢者福祉総合計画（平成24年度～26年度）について」

（委員）

ダイジェスト版に載っているサービス給付費の見込み額と以前頂いた資料の数字、計画書の数字と違うがどうか。

（事務局）

ダイジェスト版のサービス給付費については、審査手数料等を除いて、介護サービス費の諸費と介護予防サービス費の諸費を合計した金額で、それぞれ若干基準が異なる。

議題2「平成23年度介護保険の運営状況について」

（委員）

（2）の高齢化率について県は27.1%だが、国についても教えてほしい。出ていなければ、昨年の数値を教えてほしい。同様に（3）の認定率、（4）の受給率も県の数値など分かれば教えてほしい。

（事務局）

県の数値は持ち合わせていないが、機会があればお示ししたい。また、今後「上田市の介護保険」を作る予定なのでそのときにお示ししたい。

（委員）

介護給付額について、22年度と23年度を比べて、総額6億増加しているが、その分の手当てについて、第1号被保険者の保険料が増加すると思うが、その増加分以外に国からの補助金やさまざまなものでどのように5.4%分の手当てをやりくりしているのか。また、5.4%のうち、どのくらいの割合が市民の負担になるのか。

（事務局）

介護給付費の財政の関係については、23年度で言うと、一般に給付費の20%が第1号被保険者、30%が第2号被保険者の40歳から64歳までの方で、残り半分は公費で負担している。国が25%、県と市でそれぞれ12.5%負担という構成になっている。第1号被保険者の保険料は3年間同じ比率で決まっているので、変わらない。給付費が不足した場合は、基金を取り崩して、補填することで赤字を解決する。23年度は第4期の最終年度で、不足分は基金を取り崩した。

（委員）

第4期、第3期で基金を取り崩した金額はどれくらいか。

（事務局）

21年度は3,800万、22年度は1億2,600万、23年度は2億2,000万取り崩しており、残りは2億弱である。

（委員）

基本的にその基金は、税金から作った基金か。基金の原資は何か。

(事務局)

原質は、介護保険料である。毎年余った保険料を積み立てており、それ以外から入ってくるものはない。

議題3「地域包括支援センターの状況について」

(委員)

地域包括支援センターの予算のうち、丸子、真田、武石だけにある「経理区分間支出」とは、どういうものか。

(事務局)

予算編成の際、見込まれた「黒字」分である。

議題4「平成23年度高齢者のサービス利用状況について」

(委員)

2の生活支援事業で、介護サービスを受けていない方を対象にしているサービスのうち、特に生きがい対応型デイサービスについて減少傾向にあるが、その原因は何か。

(事務局)

生きがい対応型デイサービスについて、成り立ちを簡単にご説明すると、介護保険が始まる前はデイサービスは、市町村が運営していた。12年度から介護保険が始まり、デイサービスが事業所として各地域でできてきた中で、介護保険開始前に通っていた介護保険対象外の方が、介護保険開始時に移せなかった方もおり、暫定的に作ったデイサービスとも言える。また、その後閉じこもりがちな方も参加しているが、これは後から付け加えた形で、当初の目的が明確化していなかったこともあり、対象者が意外と伸びていない。

より身近で見られるようなデイサービスを進めるとすれば、こういったものがなくなってくるかもしれない。このようなデイサービスも含めデイサービスはすべて介護保険でいいのか、若しくは現行のままでもいいのか、またはより身近で支え合うデイサービスができるのではないかと考えている。また、衰退している老人クラブがこのデイサービスを運営するというのも視野に入れながら、介護予防事業の再編を進めていくと思う。

議題5「地域密着型サービス事業者の指定について」

審査状況などをもとに審査したため、非公開。

* 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。

* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。